

関係省庁によるスポーツ関係施策

外 務 省

厚生労働省

農林水産省

経済産業省

国土交通省

観 光 庁

環 境 省

スポーツ・フォー・トゥモロー



○コアメッセージ：スポーツが未来をつくる：2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会とそれに向けた具体的行動を通じて、世界のより良い未来のために、未来を担う若者をはじめ、あらゆる世代の人々に、スポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていく。

2014～2020年の7年間で、開発途上国を始めとする100か国以上の国・地域において、1,000万人以上を対象に、以下のプログラムを実施する。

※2019年9月末の集計時点で、目標である100か国・1,000万人を達成。
また、2020年東京大会の1年延期にともない、本プログラムも1年延長。

① スポーツを通じた国際協力及び交流

【外務省】

- スポーツ関連施設の整備，器材供与（文化無償資金協力）
- スポーツ指導者・選手の派遣・招へい（JICA海外協力隊派遣，スポーツ外交推進事業）
- スポーツ分野での技術協力（JICA技術協力）
- スポーツ分野での日本文化紹介・人材育成支援（国際交流基金事業）
- スポーツ分野での日本文化紹介（在外公館文化事業）等

【スポーツ庁】

- 学校体育カリキュラム策定支援、スポーツイベントの開催支援をするため、専門家を派遣
- パラリンピック参加国・地域数の拡大に向けた支援等

② 国際スポーツ人材育成拠点の構築 【スポーツ庁】

- スポーツ教育を行う大学院修士課程や短期プログラムへの留学生の受入

③ 国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援 【スポーツ庁】

- アンチ・ドーピングが遅れている国への教育・研修パッケージの開発・導入支援等

Sport for Tomorrowコンソーシアム (2014年8月設立)

※Sport for Tomorrowプログラムを推進していくための官民連携ネットワーク

●運営委員会：

外務省
スポーツ庁
日本スポーツ振興センター（JSC）
国際協力機構（JICA）
国際交流基金
東京2020組織委員会
日本オリンピック委員会（JOC）
日本パラリンピック委員会（JPC）
日本アンチ・ドーピング機構（JADA）
日本スポーツ協会
筑波大学
ラグビーワールドカップ2019組織委員会
(※2020年3月 解散・退会)

ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会
日本貿易振興機構（JETRO）

●メンバー：（随時募集中）

地方自治体
スポーツ関連団体
大学
民間企業
NGO/NPO 等

●事務局：

日本スポーツ振興センター（JSC）

上記に加え、スポーツ振興の前提となる途上国の青少年の育成を草の根レベルで支援。（教育施設整備案件）→外務省

事例紹介（外務省事業に参加した世界のアスリート）

招へい事業：南スーダン／空手



- ・2019年7月、南スーダンから空手関係者5名を招へい。
- ・両国の空手交流は、2012年から5年間、国連のPKO＝平和維持活動で自衛隊が派遣された頃から続くもの。任務の合間に有志の隊員たちが首都・ジュバにある空手道場を訪れ、地元選手を指導。
- ・同道場の期待の星が、アブラハム・アウェル選手。2019年6月の国内の大会で優勝し、オリンピックの代表に最も近い選手。国内に空手を教えられるコーチが不足しており、日本のコーチから稽古をつけてもらえる機会を得たいと南スーダン空手連盟から在南スーダン日本大使館に要請あり、本招へいが実現。
- ・アウェル選手を含む南スーダンからの選手・コーチは、滞在中、全自衛隊空手道連盟の協力を得て、強化練習を実施。かつて指導に当たった自衛隊員とも再会。
- ・アウェル選手は、南スーダン・オリンピック委員会が東京オリンピック競技大会への出場を推薦する選手として組織委に申請済み。

派遣事業：ラオス／パラ・パワーリフティング



- ・2019年8月、NPO法人パラ・パワーリフティング連盟の協力を得て、パラ・パワーリフティング指導者3名をラオスへ派遣。ラオスのパラ・パワーリフティング代表クラスの選手の強化トレーニングを実施し、ラオス全国から選手が参加。
- ・そのうちの一人、49kg級男子のピア・ラオパクディ（Pia Laophakdee）選手は、2016年のリオデジャネイロ・パラリンピックにラオスから唯一出場し、6位に入賞。2018年のアジアパラゲームでの金メダルをとり、その活躍でトンルン首相から勲章が授与された選手。
- ・2020年10月、令和元年度対ラオス草の根文化無償資金協力「障がい者スポーツ器材整備計画」を通じて、ラオスにおける障がい者スポーツの普及・発展のため、パワーリフティングに必要な器材を首都ビエンチャンのスポーツ施設に配置。
- ・現在、ピア選手の世界ランキングは13位（49kg級）。今月末時点での世界ランキングが8位以内であれば東京パラリンピック競技大会への出場権を獲得する可能性あり。

1 スポーツを活用した外交の展開

スポーツ・フォー・トゥモロー

2 スポーツ国際人材の育成・確保

IF役員ポスト獲得支援（在外公館でのレセプション、情報収集等）

3 ポストSFT体制における連携

SFTコンソーシアムの継続、外務省事業（スポーツ外交推進事業、JICA事業、スポーツを通じたSDG s 推進等）における連携

4 国際大会招致・開催支援

大会関係者及び選手等の入国にかかる政府保証、
在外公館における広報等

5 国際的なアンチ・ドーピング体制の構築

ユネスコやWADAとの緊密な連携を支援



（2018年：アルゼンチン・ユースオリンピック競技大会に際して在アルゼンチン日本国大使主催で日本代表選手団及び日系社会等現地スポーツ関係者との交流レセプションを実施）



（2019年：国際体操連盟理事会開催に際して在セネガル日本大使公邸でレセプションを実施）

スポーツ関連施策について



令和3年6月24日
厚生労働省

健康日本21(第二次)の概要

健康増進法 第7条

厚生労働大臣は、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針を定めるものとする。

国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針

健康日本21<第二次>(H25年開始) 厚生労働省告示第430号



健康の増進に関する基本的な方向

- ① 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- ② 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底(NCD(非感染性疾患)の予防)
- ③ 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
- ④ 健康を支え、守るための社会環境の整備
- ⑤ 栄養・食生活、**身体活動・運動**、休養、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康に関する生活習慣の改善及び社会環境の改善

健康日本21(第二次)

身体活動指標・運動に関連する目標項目

項 目	策定時(原則H22)	直近値(R1)※	目標(H34)	目標の根拠
日常生活における歩数の増加	20～64歳 65歳以上 男性7,841歩 5,628歩 女性6,883歩 4,584歩	20～64歳 65歳以上 男性7,864歩 5,396歩 女性6,685歩 4,656歩	20～64歳 65歳以上 男性9,000歩 7,000歩 女性8,500歩 6,000歩 (+約1,500歩)★	1日1500歩の増加は、NCD発症及び死亡リスクの約2%減少に相当し、血圧1.5mmHg減少につながる。
運動習慣者の割合の増加	20～64歳 65歳以上 男性 26.3% 47.6% 女性 22.9% 37.6%	20～64歳 65歳以上 男性 23.5% 41.9% 女性 16.9% 33.9%	20～64歳 65歳以上 男性 36% 58% 女性 33% 48% (+10%)	運動実施者の割合を現状から10%増加させると、国民全体のNCD発症・死亡リスクの約1%減少が期待できる。
住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体数の増加	17都道府県 (平成24年)	34都道府県	47都道府県	健康日本21の最終評価において、運動・身体活動の重要性を理解していても行動に移せない人々に対して、個人の置かれている環境(地理的・インフラ的・社会経済的)や地域・職場における社会支援の改善が必要である、との指摘あり。

※参考:国立研究開発法人 国立健康・栄養研究所HP 健康日本21(第二次)分析評価事業

★健康日本21の最終評価で、歩数の減少傾向が認められたにも関わらず、歩数を増加させる目標を設定した考え方
余暇時間の少ない働き盛りの世代において、運動のみならず就業や家事などの場面での生活活動も含む身体活動全体の増加や活発化を通して、活発な身体活動としての歩数を増加させる必要がある。

厚生労働省とスポーツ庁（文部科学省）の関係部署と所掌と目的

厚生労働省

《主な施策》

- 国民の予防・健康づくりの推進
- 労働者の健康・安全

➤ 健康寿命の延伸、医療費の適正化

《所掌・事業等》

健康局健康課

国民の健康の増進及び栄養の改善、生活習慣病対策
(健康日本21, スマート・ライフ・プロジェクト)

社会・援護局障害保健福祉部

障害者の保健の向上

老健局老人保健課

介護予防事業の普及(介護予防活動)

子ども家庭局保育課

児童保育

保険局医療介護連携政策課 医療費適正化対策推進室

医療保険者による予防・健康づくりの推進(特定健診・特定保健指導の事業)
医療費適正化の推進

労働基準局安全衛生部労働衛生課 産業保健支援室

労働者の心身の健康保持増進

スポーツ庁

《主な施策》

- 子供の体力の向上
- 生涯スポーツ社会の実現
- 我が国の国際競技力の向上

➤ 健康寿命の延伸、医療費の適正化

- 地域社会の活性化
- 国民経済の発展
- 国際交流・国際貢献

《所掌・事業等》

政策課

学校体育室
(学校体育・運動部活動)

健康スポーツ課

国民へのスポーツの普及、予防医学の知見に基づくスポーツの普及、地域スポーツクラブの育成、子供の体力向上、スポーツの安全確保(FUN+WALK PROJECT)

障害者スポーツ振興室
(障害者スポーツの充実)
(障害者スポーツ推進プロジェクト、Specialプロジェクト2020)

競技スポーツ課

国際課

オリンピック・パラリンピック課

参事官(地域振興担当)

参事官(民間スポーツ担当)

スマート・ライフ・プロジェクトの取組

「健康寿命をのばそう！」をスローガンに、国民全体が人生の最後まで元気に健康で楽しく毎日が送れることを目標とした国民運動。

参画団体数 6, 100団体 (2021.3.31現在)



健康寿命をのばそう！アワード 《生活習慣病予防分野》

《生活習慣病予防分野》では、従業員や職員、住民に対して、生活習慣病予防の啓発、健康増進のための優れた取組をしている企業・団体・自治体を表彰しています。

厚生労働大臣 最優秀賞

厚生労働大臣 優秀賞

厚労省健康局長 優良賞

厚労省保険局長 優良賞

スポーツ庁長官 優秀賞



健康増進普及月間オンラインイベント 「おうちで+10(プラステン)超リフレッシュ体操」

- 主催 : 厚生労働省
- 日時 : 令和2年9月24日(木)19:00~19:55
- 講師 : 谷本 道哉氏(近畿大学 生物理工学部 准教授)
- 出演者 : 宇賀 なつみ氏(スマート・ライフ・プロジェクト
オフィシャルサポーター/フリーアナウンサー)
- 実施形式 : Microsoft Teamsによるオンライン配信
- 参加料 : 無料
- その他 : オンラインイベントの動画及びイベント内で実施した
3種の運動の解説動画について、「スマート・ライフ・
プロジェクト」公式サイトにて公開します。

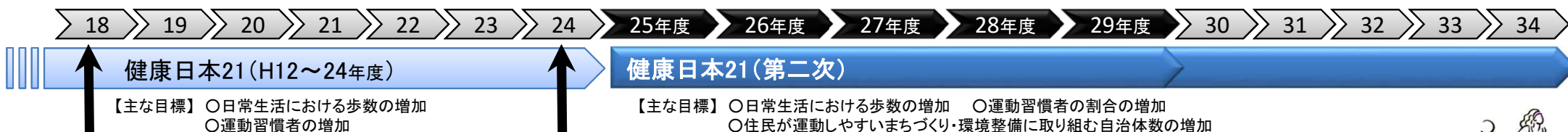


一昨年までは、
同イベントとして
ナイトヨガ体験に
スポーツ庁長官も参加



健康づくりのための身体活動基準2013(概要)

ライフステージに応じた健康づくりのための身体活動(生活活動・運動)を推進することで健康日本21(第二次)の推進に資するよう、「健康づくりのための運動基準2006」を改定し、「健康づくりのための身体活動基準2013」を策定した。



健康づくりのための身体活動基準2013

- 身体活動(=生活活動※1 + 運動※2)全体に着目することの重要性から、「運動基準」から「身体活動基準」に名称を改めた。
- 身体活動量の増加でリスクを低減できるものとして、従来の糖尿病・循環器疾患等に加え、がんやロコモティブシンドローム・認知症が含まれることを明確化(システムティックレビューの対象疾患に追加)した。
- こどもから高齢者までの基準を検討し、科学的根拠のあるものについて基準を設定した。
- 保健指導で運動指導を安全に推進するために具体的な判断・対応の手順を示した。
- 身体活動を推進するための社会環境整備を重視し、まちづくりや職場づくりにおける保健事業の活用例を紹介した。

血糖・血圧・脂質に関する状況		身体活動 (＝生活活動＋運動)	運動	体力 (うち全身持久力)
健診結果が基準範囲内	65歳以上	強度を問わず、身体活動を毎日40分(＝10メッツ・時／週)	世代共通の方向性 —	世代共通の方向性 —
	18～64歳	3メッツ以上の強度の身体活動を(歩行又はそれと同等以上)毎日60分(＝23メッツ・時／週)	3メッツ以上の強度の運動を(息が弾み汗をかく程度)毎週60分(＝4メッツ・時／週)	性・年代別に示した強度での運動を約3分継続可
	18歳未満	— 【参考】幼児期運動指針:「毎日60分以上、楽しく体を動かすことが望ましい」	—	—
血糖・血圧・脂質のいずれかが保健指導レベルの者		医療機関にかかっておらず、「身体活動のリスクに関するスクリーニングシート」でリスクがないことを確認できれば、対象者が運動開始前・実施中に自ら体調確認ができるよう支援した上で、保健指導の一環としての運動指導を積極的に行う。		
リスク重複者又は受診勧奨者		生活習慣病患者が積極的に運動をする際には、安全面での配慮が特に重要になるので、かかりつけの医師に相談する。		

○身体活動指針は、国民向けパンフレット「アクティブガイド」として、自治体等でカスタマイズして配布できるよう作成。

e-ヘルスネットによる普及啓発

- 厚生労働省では、ホームページ「生活習慣病予防のための健康情報サイトe-ヘルスネット」において、国民の生活習慣への改善を行うために、科学的知見に基づく正しい情報の国民への発信提供を行っている。
- 身体活動・運動についても、疾病の予防・改善のための運動やトレーニング方法など、さまざまな情報提供を行ってきた。
- コロナ感染症流行を受け、「外出自粛・在宅勤務下での身体活動」として、日本運動疫学会の声明を紹介。
- 今後さらに「新しい生活様式」に対応した身体活動量増加のための方法を紹介していく予定。



(<http://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/>)

国立障害者リハビリテーションセンター機能における運動等の研究および支援について

障害者健康増進・運動医科学支援センターでの障害特性に応じた運動・医科学等の研究および支援について

1 運動への医科学等の研究および支援

障害者スポーツに取り組む方々が、スポーツ実施に適した身体づくりを行いそれを維持・向上することを、医科学技術を駆使してサポートする。サポートとデータ収集を通じて、障害特性に基づき、安全で、かつ効率的に、練習・競技に活用可能な研究および支援をする。

研究および支援内容

- 検査の実践・提案…アスリートチェック(血液検査など)、運動負荷試験(全身持久力、耐乳酸性能力など)、スポーツ用具検査、栄養調査など
- コンディショニング・プログラム研究・支援…活動に強い制限を持つ重度障害者のコンディショニング(体調管理・二次障害予防・外環境対策など)
- 用具の開発・工夫…例)車いす利用者のシーティング、切断者のソケット・アタッチメントの工夫、障害者スポーツ特有種目の用具開発

2 健康増進・疾病管理および予防

健康寿命延伸のための活動・機能低下予防を運動から推進し、その医科学研究および支援をする。

入院、外来での支援内容

- 生活習慣病・加齢による機能低下の支援…教育入院、運動習慣獲得支援
- 生活基礎体力獲得の支援…障害特性に応じたプログラムや指導の実践
- 健康寿命延伸の支援…障害児・者への健康づくり運動プログラム提供、運動導入指導および用具の開発や活用

他の施設でも利用可能な健康増進プロトコルの提案

- 生活習慣病予防の研究および支援…障害特性に対応した管理法
- 健康づくり運動プログラムの提案…行動変容を促す運動指導の普及
- 活動機能低下予防の医科学研究…加齢やハイリスク者の同定と介入
- 健康づくりに関する情報共有…全国各施設での取り組み・プログラムの共有

3 病院・リハビリテーションとの連携と工夫

病院・リハビリテーションと連携し、医学的リハビリテーション下で実施されたプログラムに障害者スポーツ種目等を取り入れ、積極的な社会参加を促し、運動が継続可能な良循環の構築を支援する。

支援内容

- 獲得した生活体力の維持・向上…獲得した体力を日常生活で維持・向上する運動種目を導入し、地域生活で活用できるよう支援する
- 移動能力の向上…生活環境での車いす走行、義足での不整地歩行・走行など
- 運動種目…例) サウンドテーブルテニス、ツインバスケットボール、電動車いすサッカー、アンプティーサッカー、ボッチャ、車いすマラソン、など

4 障害者の健康づくりに関する人材育成

障害者の健康づくりを支援する専門職を対象とした研修会を実施し、専門的な人材育成を支援する

- 障害者の健康づくりに関する研修会の実施…「障害者のヘルスプロモーションに関する研修会」事業

レクリエーション活動等支援事業(地域生活支援事業)

1 事業内容

障害者等の交流、余暇活動の質の向上、体力増強等に資するため、レクリエーション教室や運動会等を開催する等、障害者等が社会参加活動を行うための環境の整備や支援を実施する。

2 実施主体

都道府県、市町村

3 予算、補助率

令和3年度予算:地域生活支援事業費等補助金513億円の内数

① 市町村事業 : 国50/100以内、都道府県:25/100以内

② 都道府県事業:国50/100以内

4 その他

本事業は、障害者総合支援法第77条又は第78条に基づき地域生活支援事業(社会参加促進事業)として市町村又は都道府県が実施することができる。

全国健康福祉祭（ねんりんピック）

1 大会の概要

（1）目的・沿革

全国健康福祉祭(ねんりんピック)は、長寿社会を健やかで明るいものとするため、国民一人ひとりが積極的に健康づくりや社会参加に取り組むとともに、こうした活動の意義について広く国民の理解を深めることを目的として、厚生省創立50周年に当たる昭和63(1988)年から開催している。

（2）主 催

厚生労働省、開催県(政令指定都市)
一般財団法人長寿社会開発センター

（3）共 催

スポーツ庁

（4）参加者

- ・主たる参加者は60歳以上の者。
- ・児童の参加等の世代間交流等にも積極的に配慮。

（5）事業内容

- ・総合開会式、総合閉会式
- ・健康関連イベント（スポーツ交流大会、ふれあいスポーツ交流大会）
- ・福祉・生きがい関連イベント（文化交流大会、美術展、地域文化伝承館等）
- ・健康、福祉・生きがい共通イベント（健康福祉機器展、音楽文化祭等）
- ・オリジナルイベント
- ・併催イベント



和歌山大会 総合開会式



和歌山大会 地域文化伝承館

2 開催実績・予定

回数	開催年	開催地	参加人員
第1回	昭和63年	兵庫県・神戸市	8万人
第2回	平成元年	大分県	18万人
第3回	平成2年	滋賀県	23万人
第4回	平成3年	岩手県	27万人
第5回	平成4年	山梨県	30万人
第6回	平成5年	京都府・京都市	46万人
第7回	平成6年	香川県	55万人
第8回	平成7年	島根県	33万人
第9回	平成8年	宮崎県	43万人
第10回	平成9年	山形県	52万人
第11回	平成10年	愛知県・名古屋市	70万人
第12回	平成11年	福井県	46万人
第13回	平成12年	大阪府・大阪市	70万人
第14回	平成13年	広島県・広島市	61万人
第15回	平成14年	福島県	51万人
第16回	平成15年	徳島県	44万人
第17回	平成16年	群馬県	50万人
第18回	平成17年	福岡県・北九州市・福岡市	54万人
第19回	平成18年	静岡県・静岡市	57万人
第20回	平成19年	茨城県	48万人
第21回	平成20年	鹿児島県	54万人
第22回	平成21年	北海道・札幌市	54万人
第23回	平成22年	石川県	54万人
第24回	平成23年	熊本県	55万人
第25回	平成24年	宮城県・仙台市	51万人
第26回	平成25年	高知県	40万人
第27回	平成26年	栃木県	41万人
第28回	平成27年	山口県	54万人
第29回	平成28年	長崎県	55万人
第30回	平成29年	秋田県	52万人
第31回	平成30年	富山県	55万人
第32回	令和元年	和歌山県	56万人
第33回	令和3年	岐阜県	60万人
第34回	令和4年	神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市	60万人
第35回	令和5年	愛媛県	(未定)
第36回	令和6年	鳥取県	(未定)

※第33回～第36回は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、1年延期

3 令和3年度 ぎふ大会の開催概要

(1) 概要

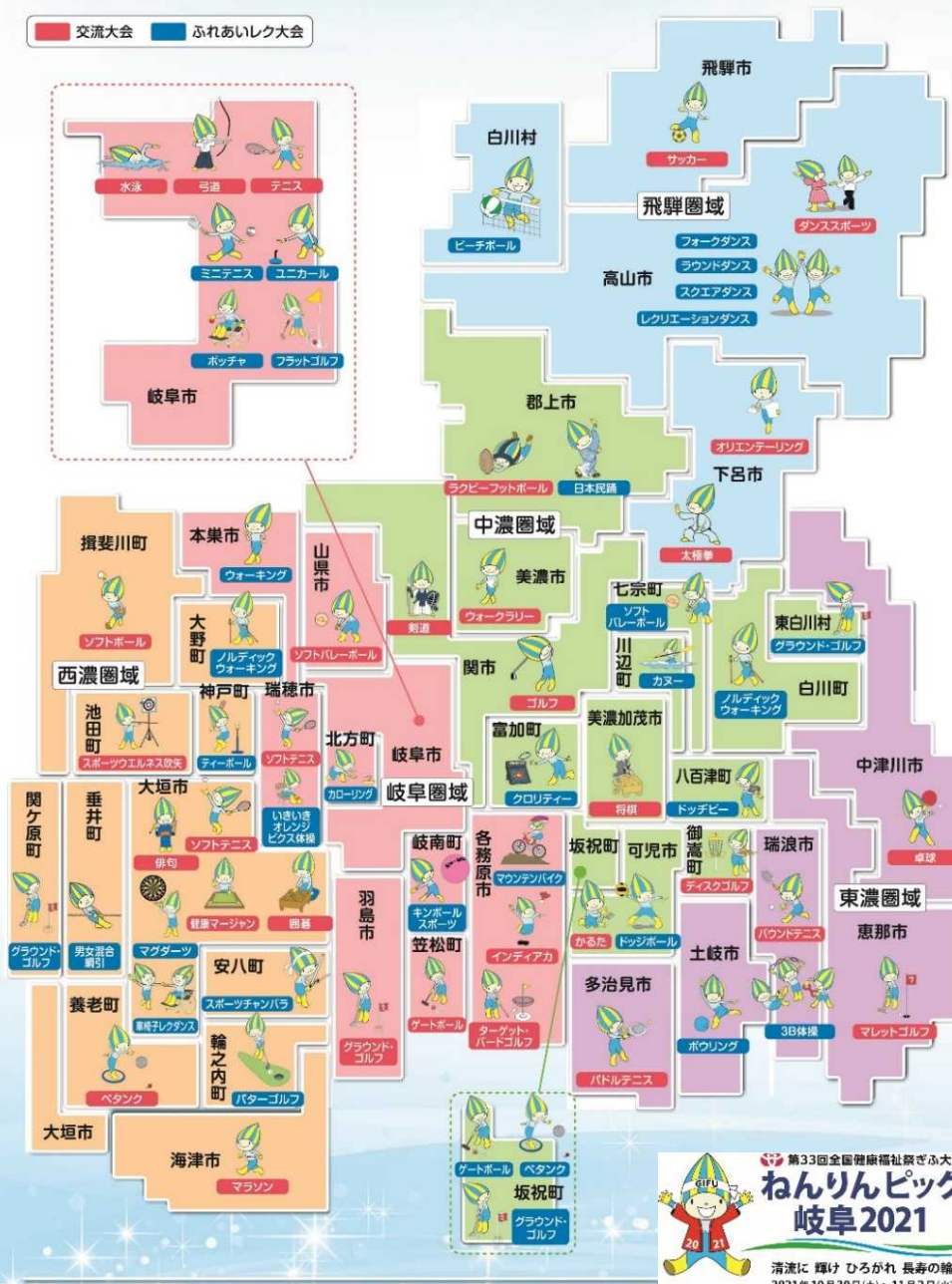
- 名 称 第33回全国健康福祉祭ぎふ大会
- 愛 称 ねんりんピック岐阜2021 (にーぜろにーいち)
- テーマ 清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪
- 会 期 令和3年10月30日(土)～11月2日(火)
- 参加予定人員 延べ約60万人(観客含む)
- PRキャラクター「ミナモ」
- 事業体系
 - ・ 総合開会式
(会場：岐阜メモリアルセンター長良川競技場)
 - ・ スポーツ・レクリエーションイベント
(スポーツ交流大会(10種目)、ふれあいスポーツ交流大会(16種目)
ふれあいレク大会(32種目)他)
 - ・ 文化イベント
(文化交流大会(5種目)、美術展、音楽文化祭、地域文化伝承館他)
 - ・ 健康、福祉・生きがい共通イベント
(講演会、健康福祉機器展、ふれあい広場他)
 - ・ 併催、協賛イベント
 - ・ 総合閉会式
(会場：長良川国際会議場メインホール)



(2) ぎふ大会の特色 (大会目標)

- ① 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「スポーツ・文化の振興」につなげる大会
- ② 「健康長寿」の素晴らしさを確かめ合う大会
- ③ 「地域共生社会」実現の契機となる大会
- ④ 新型コロナウイルス感染症を克服して初めて開催する、「交流」の喜びを実感できる大会

交流大会・ふれあいレク大会 会場地一覧



スポーツと連携した農山漁村の振興について

令和 3 年 6 月

農 林 水 産 省

農 村 振 興 局

スポーツと連携した農山漁村の振興について

- 農山漁村地域は、豊かな食材と多様な自然、新鮮な空気が存在し、スポーツを行うに当たって高いポテンシャルを有するエリア。
- これまでも、地域独自の取り組みとして、スポーツイベントと関連付けた農産物のPR等が行われているところ。
- 今後、農林水産省では、農業以外の所得と雇用機会を確保できるよう、農村の地域資源を他分野と組み合わせ、新たな事業・価値を創出する「**農山漁村発イノベーション**」を推進。特に、「**スポーツとの連携**」は、交流・関係人口の拡大や経済効果など**地域振興に大きく寄与**。

農山漁村における主な地域資源

宿泊

<農家民宿>



福井県鯖江市

<漁家民宿>



京都府与謝郡伊根町

<古民家>



京都府南丹市美山町

古民家、
農家民宿など

<漁業体験>



漁業体験
大阪府田尻町

体験

<農作業体験>



野菜収穫体験
熊本県菊池市

<世界農業遺産>



白米千枚田
石川県輪島市

<美しの森>



糺の森
京都府京都市

地元食材、食文化など

食

<地元野菜>



<食文化>



神楽料理
宮崎県

<ジビエ>



<漁港めし>



都屋の海人丼/沖縄県

スポーツと連携した 農山漁村発イノベーションのイメージ

農村漁村の地域資源

自然・景観

文化・歴史

食文化

古民家・空き家

農業遺産
かんがい施設遺産

スポーツ

競技スポーツ

遊技

アスリート

運動愛好者

健康



新たな事業・価値の創出

農山漁村発イノベーション

農村セラピー

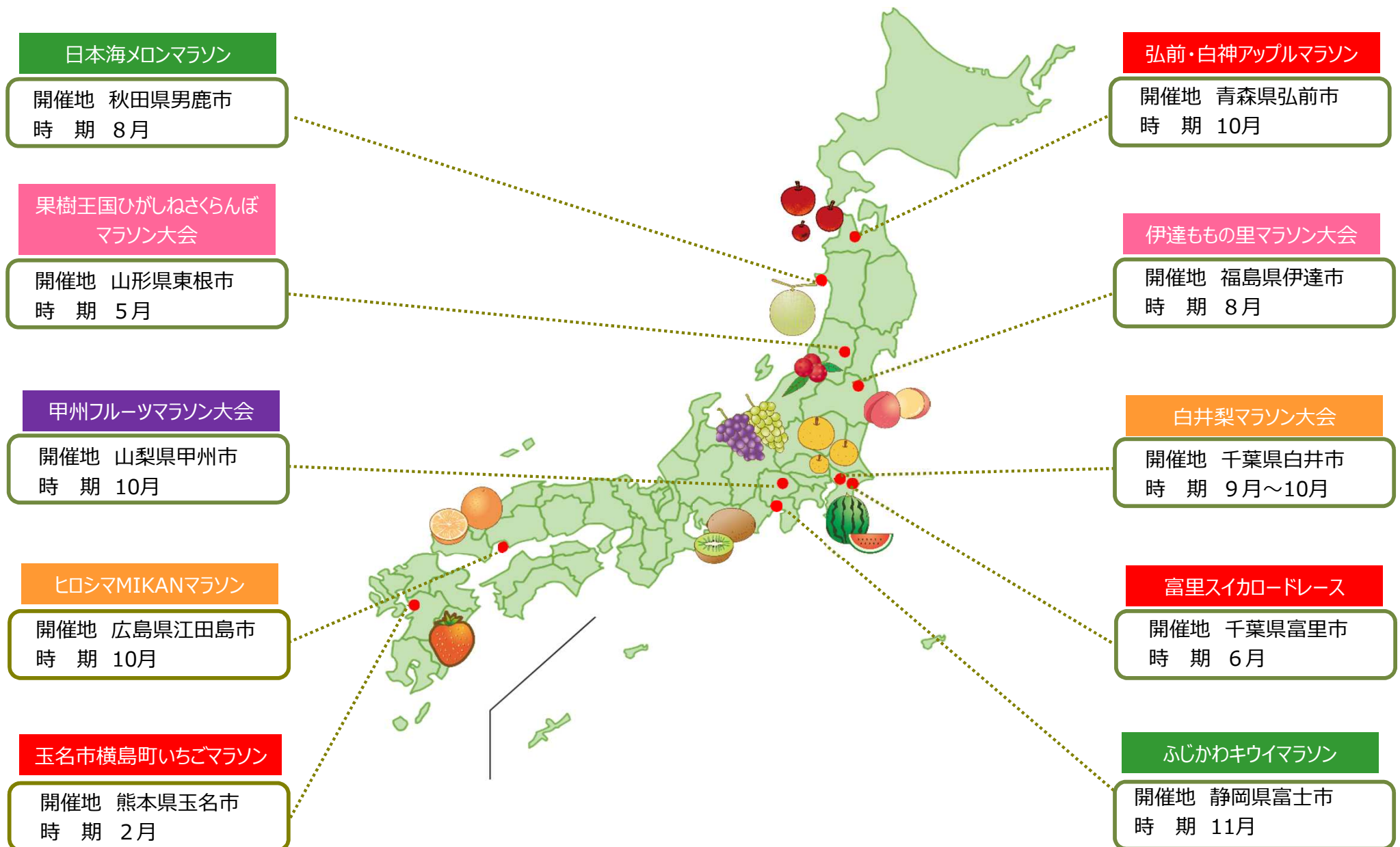
体験型アクティビティ

農村ツーリズム

アスリート・ファーマー



スポーツイベントと関連付けた農産物のPRの例（マラソンイベント×フルーツ）



スポーツを観光コンテンツ化した農山漁村振興の取組事例

スポーツを活用した高付加価値化

【自然・景観×アスリート】

南木曽「ウェルネス農泊」推進協議会（長野県南木曽町）

・元オリンピック選手等の企画による体験コンテンツや古民家での宿泊・地元食材を活用しミシュラン星付きの料理人が監修した料理メニューの提供など自然景観の高付加価値化を追求。



元オリンピック選手によるカヌー体験



滝で遊ぶキャニオニング

【自然・景観×スポーツイベント】

下田郷SATOYAMAみらい協議会（新潟県三条市）

・日本全国1,000万人のランニング愛好者を対象としたランナース・ヴィレッジ・プログラム等、スポーツ・アウトドア資源を活用した新たな滞在型観光コンテンツを提供する体制を整備。



ランニングイベントの開催



パラスポーツマラソンコースの検討

地域資源を活用した体験コンテンツ

【自然・景観&農業遺産×健康】

一般社団法人ツーリズム高千穂郷（宮崎県高千穂）

・自然景観や農業遺産等を活用して、効果的に周遊できる散策ルートの設定。楽しみながら周遊できる手段の一つとして、森林セラピー等の農業遺産を歩くプログラムを提供。



森林セラピー（歩く世界農業遺産）



高千穂峡

【かんがい施設遺産×遊技】

菊池ふるさと体験協議会（熊本県菊池市）

・農業用水路をカヤックでくだる、原井出（はるいで）下りアドベンチャー「イデベンチャー」。300年もの歴史があり、菊池渓谷を源流とする清らかな水と、里山の大自然を体験。



大自然アトラクションの イデベンチャー

(参考) 農山漁村発イノベーションの推進

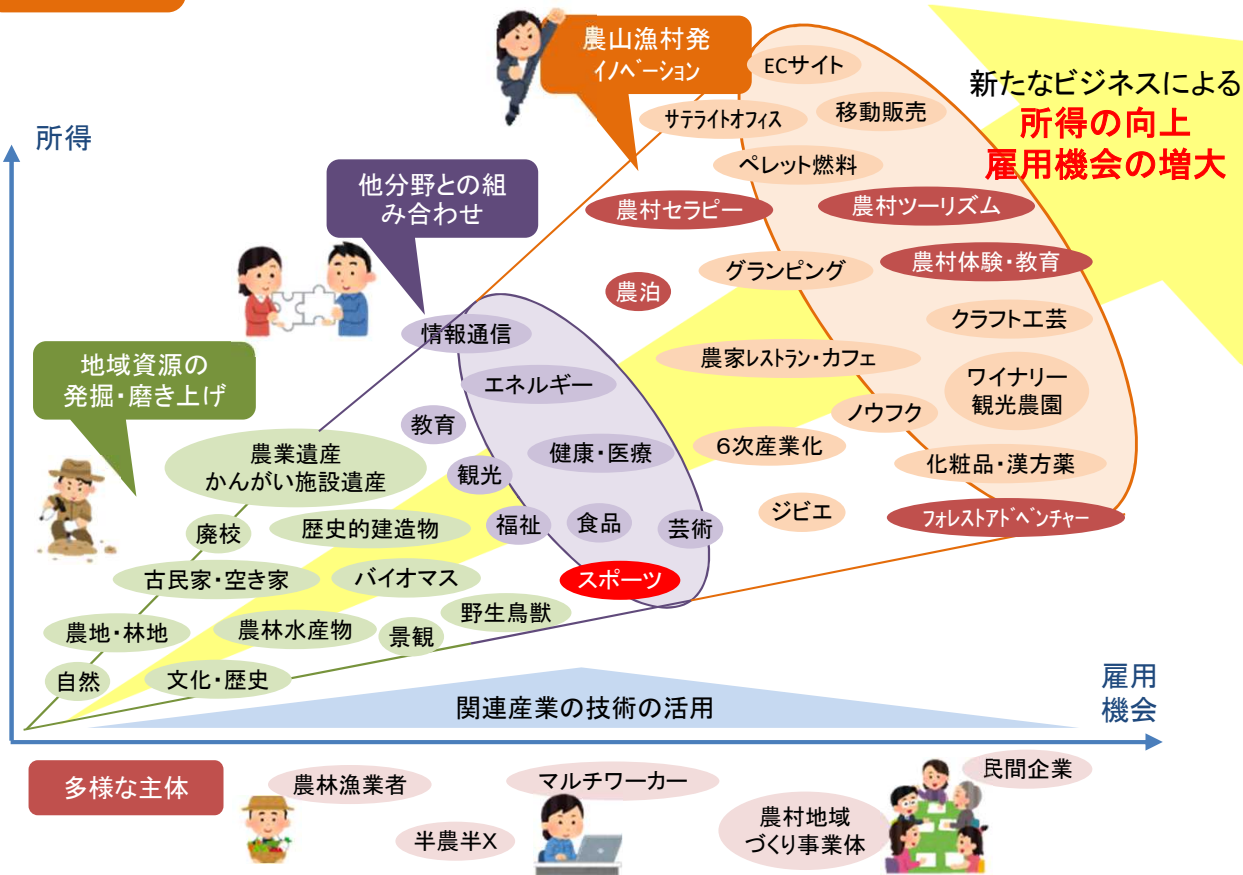
- これまでの6次産業化に加え、農山漁村の活用可能な**地域資源**を発掘し、磨き上げた上で、他分野と組み合わせる取組である「**農山漁村発イノベーション**」により新たなビジネスを展開。
- 農山漁村発イノベーションの推進に当たっては、農業以外の事業にも取り組む農業者や事業者等**多様な主体**が関わることにより、**地域の所得向上や多様な雇用機会を創出**。

これまでの取組 (6次産業化)

- 地域資源と他分野との組合せが、農林水産物と食品産業など**限定的**

農山漁村発 イノベーション

- 農山漁村の**あらゆる地域資源をフル活用**した取組を支援
- 他産業起点の取組など**他分野との連携**を一層促進



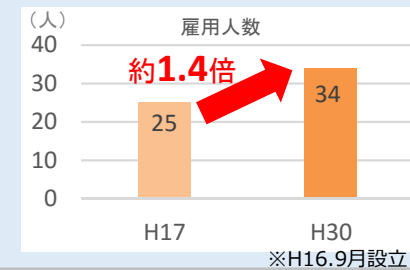
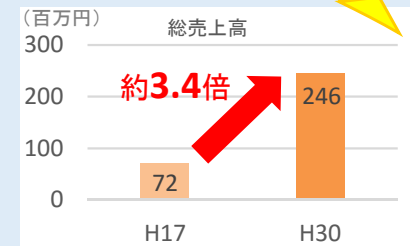
【農産物 × 食品】 宮城県大崎市

概要

- 光センサーを用いた非破壊糖度測定等**新技術**を取り入れ、高糖度トマトとして**差別化**。
- トマトジュースはドバイの富裕層向けのノンアルコール飲料(1万5千円/本)として輸出。
- **複合経営による安定雇用**を実現

成果

- 総売上高が約**1.7億円**増加(約**3.4倍**)。
- 雇用人数は**9人**増加(約**1.4倍**)。



ディスカバー農山漁村の宝
第7回(R2)基幹ランプリ(ビジネス部門)

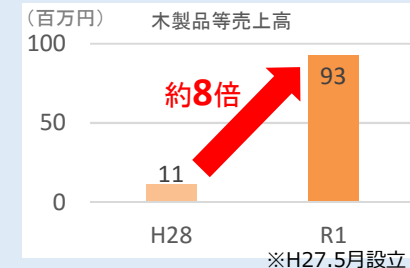
【木材 × 歴史・文化】 岐阜県飛騨市

概要

- チップとして安価に流出していた小径木を**飛騨の匠の技**を用いて安定的かつ継続的にその価値を高め、**斬新な家具、什器、内装材等の商品**を開発し販売。
- 森林・木材に関する**体験ツアー**を実施。

成果

- 木製品等の売上が約**8,000万円**増加(約**8倍**)。
- 体験プログラムの参加者は延べ約**3,000人**。宿泊者は延べ約**1,000人**。



今後のスポーツ産業政策について (地域×スポーツクラブ産業研究会 第1次提言)

2021年6月24日
経済産業省

スポーツの成長産業化：「トップスポーツ」と「地域スポーツ」を車の両輪で

- ✓ 成長戦略に掲げた目標は「**スポーツ産業全体の市場規模を2025年までに15兆円に**」。
- ✓ しかし、過去5年の日本のスポーツGDPは微増にとどまる。特に、**経済産業省所管の「スポーツ施設提供業」（ゴルフ場・スキー場・テニス場・フィットネスクラブ等）は縮小傾向**。
- ✓ 課題は、以下の2つを「車の両輪」のように回すこと
 - ①「**トップ・スポーツ（プロ・実業団・大学）**」の成長（現状は、世界のスポーツビジネス潮流である「DXによるコンテンツ産業化・データ産業化」から大きく取り残されている）
 - ②「**サービス業としての地域スポーツクラブ**」の成長（スポーツ施設提供業が、学校・社会体育施設等の指定管理、生涯学習、ヘルスケア、飲食等を含んで業態転換した先の姿）

<成長戦略に掲げられたスポーツ市場目標>



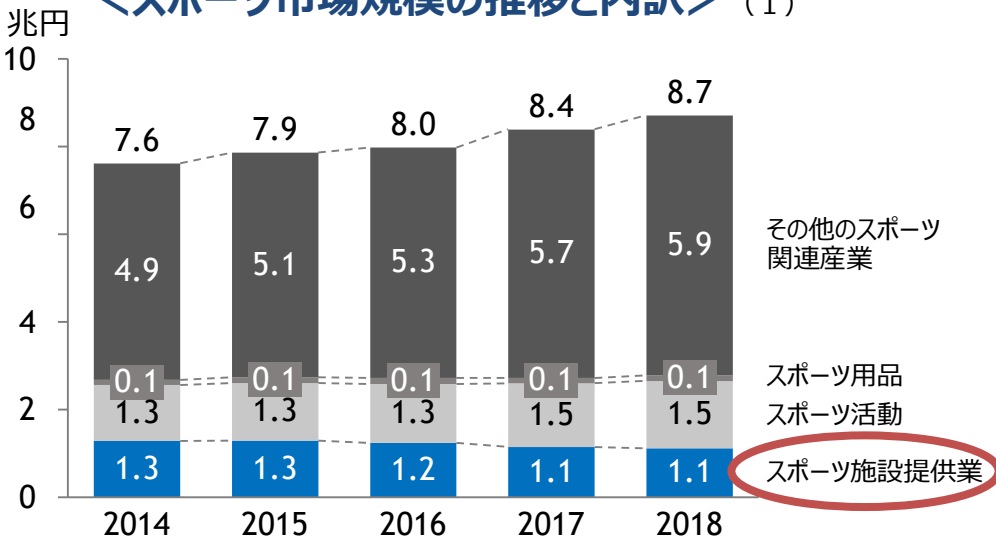
<英国とのスポーツGVA（Gross value Added）比較（2011年）>

127.934円/ポンド（2011年平均値）で換算

(単位: 億円)	日本		英国		全体産業比の 日英比較 (A)/(B)
	スポーツ	全体産業比 (A)	スポーツ	全体産業比 (B)	
スポーツ産業GVA 合計	66,416	1.39%	46,278	2.60%	54.0%

約2倍

<スポーツ市場規模の推移と内訳> (1)

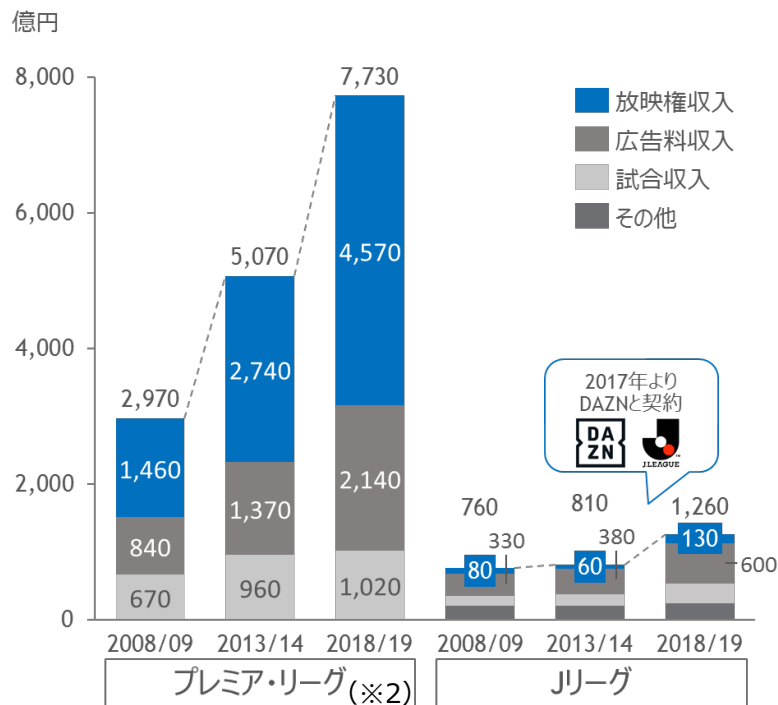


(1) 「スポーツ活動」には、競輪・競馬等の競走場・競技団、興行場・興行団、スポーツ・個人教授業、その他の個人サービスを含む。「その他のスポーツ関連産業」には、スポーツに関連する商業・輸送、教育、情報通信、建設 等を含む

①「トップスポーツ」の成長：DXで構造転換が進む欧米との差を埋める

- ✓ 日本のプロスポーツの市場規模は欧米に比べて圧倒的に小さい。たとえば、欧州プロサッカーの売上高の内訳を見ると、大きく伸びているのは放映権・広告料の収入。
- ✓ 背景には、有料専門チャンネルのスマホ配信など、DX（デジタル・トランスフォーメーション）による国境を越えたスポーツコンテンツ・ビジネスの拡大がある。
- ✓ さらに、英国・欧州・豪州に加え、米国でもスポーツ・ベッティング（賭博）が解禁。「ウオッチ・アンド・ベット」（観る×賭ける）が広がり、データ・コンテンツの価値を増し、スポーツ産業の成長エンジンに。

＜リーグ所属クラブの売上高推移（内訳）＞（※1）



＜ベッティングとデータ取引を通じたスポーツ産業の資金の流れ＞



（※1） Jリーグでは、放映権収入を元手に支払われるJリーグ配分金を放映権収入としている

（※2） Jリーグ「クラブ経営情報開示」、Deloitte「Annual Review of Football Finance」2010、2015、2020

（出所）第6回研究会ミクシイ木村様発表資料から抜粋して経済産業省で編集

②「サービス業としての地域スポーツクラブ」の成長

課題：大人の「生涯スポーツ」やジュニア世代の「学校部活動」の担い手のほとんどは**無償ボランティア頼み**。サービス業として成立せず、持続可能でなく、成長機会の損失も大きい現状。

サービス業としての「地域スポーツクラブ」の可能性

【イメージ】

プロスポーツ・フィットネス・教育産業・学校法人など**様々な運営主体**による新業態として、**有償で、公共施設を活用し、サービス業としての地域スポーツクラブ**を全国各地に実現できないか。

【大人世代向け】 生涯スポーツ・健康・社交の場



【ジュニア世代向け】 学校部活動に代わる活動の場



■学校とクラブハウス
↓メインアリーナ（共同利用） ↑スカイアリーナ（共同利用）
↓スタジオ



【考える、クラブの多様な収入源】

- ・ 会費収入、自治体からの指定管理者収入・業務委託収入
- ・ パーソナルトレーニングやヘルスケアのサービス
- ・ カフェ・レストラン、生涯学習サービス等の運営
- ・ **トップスポーツクラブからの資金・人材の環流** 等

検討すべき5つのポイント

【運営コストの低廉化】

フィットネス産業・プロスポーツ等のPPP参画による公共施設整備・共同利用の促進

学校施設等整備の自治体向け補助金の執行の工夫



A

【質の高いスポーツ指導者の確保】

- ・ 各競技団体での指導資格取得義務化
- ・ 学校の兼業規制の緩和



B

【受益者負担の低減】



- ・ スポーツ振興くじtotoの収益性向上（インプレイくじの検討）
- ・ スポーツベッティングの可能性

C

D

「学校部活動」地域移行方針の明確化
（企業・NPOも担える「社会教育」と整理）

E

「学校限定」の大会参加資格のオープン化
（各競技団体・中体連・高体連に要請）

「トップスポーツ」と「地域スポーツ」の資金循環・人材循環（“車の両輪”）

- ✓ 日本のスポーツが「成長産業」になるには、①『トップスポーツクラブ』のDX時代の成長モデルづくりと、②サービス業としての『地域スポーツクラブ』を両輪で成長させる資金・人材の循環創出が必要。

■ トップスポーツの成長

トップ・スポーツクラブ

—DX時代のビジネスモデル構築—



世界中から稼いだ資金の流入
アスリートのセカンドキャリア形成

■ 地域スポーツの成長

サービス業としての 地域スポーツクラブ

- 会費収入、施設の指定管理、業務委託
- オンライン・オフライン融合のパーソナルトレーニングやケア
- カフェ・レストラン、生涯学習サービス等の運営
- トップスポーツクラブからの資金・人材の環流 等

分厚い地元ファンの形成
次世代アスリート育成の裾野拡大

スポーツの拠点となる多様な都市公園

- 国土交通省では、地方公共団体が実施する都市公園でのスポーツ施設整備（PPP/PFIによる民間活力導入を含む）、グリーンインフラを導入したスポーツ空間整備等に対し、支援を行っている。
- また、直轄の国営公園を含め、都市公園では様々な団体と連携したスポーツ振興に取り組んでいる。

国際大会・国体の 主要会場等



R1茨城国体会場となった陸上競技場
【笠松運動公園（ひたちなか市）】



ラグビーW杯、東京オリンピック会場のスタジアム
【新横浜公園（横浜市）】



多目的利用が可能な運動広場
【会津総合運動公園（会津若松市）】

民間活力導入や まちの賑わい創出



Park-PFIによるラグビー場の再整備
【花園中央公園（東大阪市）】



PFIによるプール整備・運営
【原山公園（堺市）】



グリーンインフラを導入したスタジアム整備
【FC今治新スタジアム（今治市）】

多彩な スポーツイベント



日本プロ野球選手会とタイアップした
キャッチボールができる公園づくり事業



ディスクゴルフを楽しめる芝生広場
【国営海の中道海浜公園（福岡市）】



インストラクターによるガーデンヨガの開催
【服部緑地（大阪府）】

参考：国民体育大会の会場となる都市公園の整備例 国土交通省

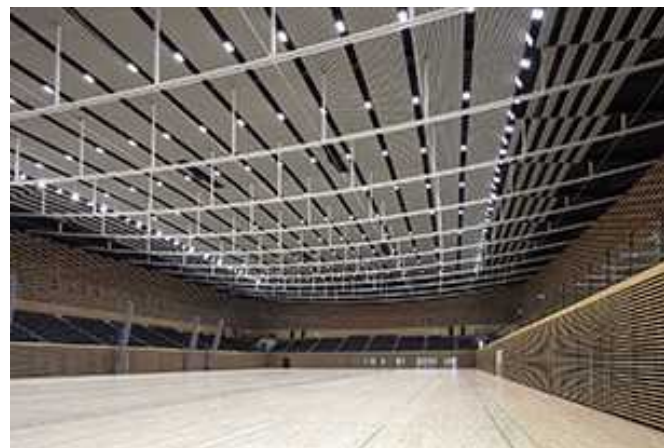


H30福井大会の開・閉会式の会場となった福井運動公園の陸上競技場



【陸上競技場】

R3三重大会に向けて整備された体育館と陸上競技場



【体育館】

○国民体育大会の開催地

年度	開催地
H28 (2016)	岩手県
H29 (2017)	愛媛県
H30 (2018)	福井県
R1 (2019)	茨城県
R2 (2020)	中止
R3 (2021)	三重県
R4 (2022)	栃木県
R5 (2023)	鹿児島県
R6 (2024)	佐賀県
R7 (2025)	滋賀県

- 都市公園は、世代を問わずスポーツや心身のリフレッシュの場となるだけでなく、こどもの健全な発育を促す場としても重要。
- 都市公園の立地環境に応じて、様々な屋外での自然とのふれあいや集団の中で身体を動かす遊びの場を提供しており、地方公共団体とともに積極的な公園利用を促進している。



遊具を用いた集団で遊ぶ場の確保



自由に冒険遊びや自然体験のできる場の確保

- 全国都市公園整備促進協議会において、こどもの健全な発育のため、公園利用を促すメッセージを発信



国立成育医療研究センター理事長のコメント

「子どものこころと体の発達にとって、戸外で遊ぶことはとても重要です。この時期であるからこそ、公園を上手に利用していただきたいと思います。」

参考：最近の公園利用の状況

- 新型コロナウイルスの感染者が増加した期間、換気の悪い密閉空間を避け、心身の健康の維持増進を図る場所などとして、オープンな空間である公園の利用者が増加。
- 現在、公園管理者による感染症対策が行われる中、ソーシャルディスタンスの確保等に配慮した公園利用がみられる状況。

● 感染対策に配慮した公園利用の状況



公園スタッフによる
園内呼びかけ



利用者間の距離に配慮した公園利用



大人・子供の身長に合わせたアルコールスタンドの設置

国土交通省において、感染対策に気を付けながら継続的に公園を利用できるよう、新しい生活様式を踏まえた公園利用のポイントをとりまとめて周知。



「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生

～都市におけるイノベーションの創出と人間中心の豊かな生活の実現～

- 国土交通省では、少子・高齢化等に対応するため、都市構造の改変（コンパクト＋ネットワーク）とともに、人中心の「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の推進に取り組んでいる。
- まちなかの身近なオープンスペースである都市公園は、スポーツ・健康まちづくりにおいても重要。



居心地が良く歩きたくなるまちなか

Walkable 歩きたくなる

Eye level まちに開かれた1階

Diversity 多様な人の多様な用途、使い方

Open 開かれた空間が心地良い

居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたくなる、歩きたくなる。

歩行者目線の1階部分等に店舗やラベがあり、ガラス張りで見えたと、人は歩いて楽しくなる。

多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。

歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。

1階をガラス張りの店舗にリノベーションし、アクティビティを可視化
民間敷地の一部を広場化（宮崎県日南市）



2つの開発の調整により一体整備された神社と森（東京都中央区）



都市構造の改変等

- 都市構造の改変（通過交通をまちなか外へ誘導するための外周街路整備等）
- 都市機能や居住機能の戦略的誘導と地域公共交通ネットワークの形成
- 拠点と周辺エリアの有機的連携
- データ基盤の整備（人流・交通流、都市活動等に係るデータプラットフォームの構築等）等



駅前のトランジットモール化と広場創出（兵庫県姫路市）



道路を占用した夜間オープンカフェ（福岡県北九州市）



日常的に健康運動の場となる芝生空間を備えた都市公園（東京都豊島区）

観光庁におけるスポーツツーリズムの取組

- 自然・文化・食などの**観光資源を高付加価値・長期滞在型コンテンツに磨き上げる**取組を推進。
- 特に、自然を活用したコンテンツ（**アドベンチャーツーリズムやスノーリゾート**）の充実を図る。
- あわせて、旅行需要の変化を踏まえた**訪日プロモーションや日本ブランドの創出**を推進。

アドベンチャーツーリズム

日本の豊かな自然・文化を体験できるアドベンチャーツーリズムを全国各地に推進。



スノーリゾート

上質なスキー場の整備、多言語対応、長期滞在できる域内のコンテンツ造成を一体的に推進。



eBikeを活用したグリーン
シーズンアクティビティ



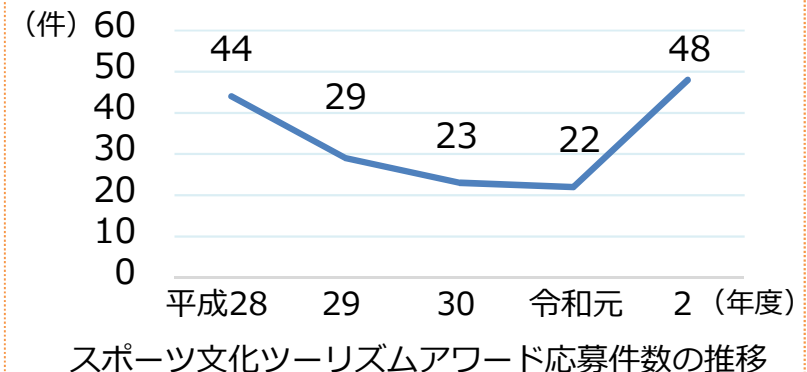
スノーシュートレッキング

プロモーション

日本政府観光局（JNTO）による訪日プロモーションや、スポーツ庁・文化庁との連携により日本ブランドを創出するスポーツ文化ツーリズムを推進。



JAPAN ADVENTURE ウェブサイト



環境省におけるスポーツ関連の取組について

- ・環境省では、全国34の国立公園や長距離自然歩道等での自然とのふれあいを推進し、全国的な普及啓発を行っており、自然観察会や外来生物駆除などの体験プログラムも実施している。
- ・また、政府全体で推進する「明日の日本を支える観光ビジョン」の10本の柱の一つとして、「国立公園満喫プロジェクト」を進めており、自然体験コンテンツの造成やプロモーション等の取組を実施し、国立公園においてシーカヤックやマウンテンバイクなどのアクティビティを提供している民間事業者の情報を集約した「国立公園コンテンツ集」を作成することで、雄大な自然景観のみならず、動植物や文化、人々の暮らし、温泉、食等様々な魅力に富んだ日本の国立公園とスポーツ関連の取組も紹介している。

自然体験 プログラムの実施



【環境省レンジャーとの体験
プログラムの例】

「国立公園コンテンツ集」にて 体験可能なアクティビティを紹介



【大山隠岐国立 公園シーカヤック ツアー】



【十和田八幡平 国立公園マウン テンバイク】

コンテンツ 01

絶景！ 火山が創り上げた隠岐の島で、
迫力ある自然を全身で体感しよう
「シーカヤック洞窟ツアー」

<掲載例>

FIT GROUP

火山によって形成された迫力ある岩の海岸地形や、季節的に珍しいアルカリ溶融岩など、世界的にも独特な隠岐ジオパークの地質景観を体感できます。さらに、海岸の洞窟にシーカヤックで入ることができ、多様な自然の姿を見ることが出来ます。ガイドが洞窟の自然を解説するので、より理解を深め記憶に残る体験となるでしょう。

時期 4月～10月
所要 120分
料金 大人(16歳以上)6,500円・小人(10～15歳)5,500円
開催地 海洋スポーツセンター
電話 08512-6-2050
E-mail okigepark001@gmail.com
URL https://www.okigepark.com/

コンテンツ 11

なだらかな丘が続き、ブナやコナラなどの広葉樹が広がる…走りやすい環境。
八幡平の大自然の中を、マウンテンバイクで駆け抜けてみませんか。
大地の風を感じられる八幡平でのマウンテンバイク

FIT

四季折々の自然を感じられる八幡平・安比でのマウンテンバイクは、いかげすか「ブナやコナラ、コナラなどの広葉樹が広がり、山々の稜線から丘がなだらかな丘が続き、爽やかな風が吹く。八幡平・安比エリア、新緑と爽やかな風が心地よい。春や秋は、緑や赤と青のコントラストが美しい。紅葉を見ながらのんびり走れる。秋など、MTBで季節ごとの自然を満喫してみませんか？

時期 6月～10月 所要 1日コース300分 半日コース120分
料金 大人13,200円・小人11,880円 ※自転車走行の
できるコースより短時間 ※乗車300m以上を走行(保護者同伴)
※乗車300m以上を走行(保護者同伴)
※乗車300m以上を走行(保護者同伴)
開催地 CLUBMAN MOUNTAIN GUIDE 電話 0195-78-3388
E-mail clubman@clubman.co.jp
URL http://www.clubman.co.jp/paradise/mtb/mountainbike.html